

福岡水素エネルギー人材育成センター

第1回「経営者(燃料電池自動車)コース」のご案内

主 催：福岡水素エネルギー人材育成センター(福岡水素エネルギー戦略会議)
後 援：(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
水素エネルギー協会(HESS)、燃料電池開発情報センター(FCDIC)
公益財団法人 水素エネルギー製品研究試験センター(HyTReC)

1. 経営者(燃料電池自動車)コースの概要

1-1. 目的

自動車関連企業の経営幹部を対象に、燃料電池自動車の基礎知識の習得を目指すとともに、2015年の燃料電池自動車市場化に向けた経営判断に役立つ業界動向の情報提供を行います。

1-2. 対象

自動車関連企業の経営幹部等

1-3. 特徴

- ① 水素の性質や燃料電池自動車に関する基本的な知識を短時間で習得。(半日間)
- ② 2015年の市場化に向けたFCV開発動向とその後の業界動向大胆予測。
- ③ 少人数制で、個別の疑問にも丁寧に対応。
- ④ 戦略会議の支援により低受講料を実現。

今回は特に・・・

水素とは何か、これまでの自動車と燃料電池自動車は何がちがうのか。2015年の市場化をきっかけに何が変わるのか。

どんなことでもご質問ください。講師が丁寧にお答えします。

また、施設見学では、燃料電池自動車市場化に向け実証試験が進む水素ハイウェイと、燃料電池自動車をご覧いただきます。

2. 経営者コースの詳細

2-1. 開催日程

平成23年 11月17日(木) 12:50 ~ 17:00

2-2. 会場

九州大学伊都キャンパス ウエスト4号館 914、915号
(福岡市西区元岡744番地)

[アクセス案内]

<http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/info/index.html>

ー公共交通機関をご利用の場合ー

地下鉄「博多」「天神」→ (地下鉄・JR 筑肥線) → 「九大学研都市」
→ (昭和バス) → 「九大工学部前」下車

[時刻表] <http://www.f-suiso.jp/jinzaiikusei/itocampusjikokuhyoukeieisya.pdf>

※地下鉄「博多」「天神」から、「筑前前原」「唐津」「西唐津」行き電車をご利用ください。
「九大学研都市」まで直通で運転されます。

ー自家用車をご利用の場合ー

キャンパス内に無料駐車場があります。守衛所で受付をお願いします。

※受付の際、本案内4頁「カリキュラム」を提示してください。車両の入構料が免除されます。

2-3. 定員

40名 (定員に達し次第募集を締め切ります。)

2-4. 受講料

3,000円/人

2-5. カリキュラム

4ページに記載のとおり

2-6. アンケート調査

講義ごとに内容に関するアンケート調査を実施し、次回以降の参考とさせていただきます。

2-7. 名刺交換会(交流会)

講義終了後、任意参加で名刺交換会(交流会)を行います。人脈づくりにお役立てください。参加希望の方は併せてお申し込みください。

会場: 稲盛フロンティア研究センター 1階「天天」

時間: 17:10 ~ 18:30

参加費用: 2,000円/人

2-8. 受講申込み方法

福岡水素エネルギー戦略会議ホームページからお申し込みください。

オンライン申込みフォーム

<https://www.sipstool.com/f-suiso/anq/index.php?p=20090309105516>

2-9. 受講料の納付について

受講申込者には、受講料及び交流会費(参加者のみ)の請求書を事務局から送付します。

納付期限日までに指定の口座にお振り込みください。

※ 納付期限までに振込みが困難な場合は、事務局まで振込予定日を連絡してください。

2-10. 申込締切

平成23年11月10日(木) 定員に達し次第、申込を締め切ります。

2-11. その他注意事項

- ① 受付は申込み順とし、定員になり次第、募集を締め切ります。
- ② 受講料納付後は、返金することができませんのでご了承ください。
(受講者の変更は可能です。)
- ③ 当コースの講座にお申し込みいただく場合は、次の誓約内容に同意頂いたものとみなしますので、あらかじめご了承ください。

[誓約内容]

当コースで開講される講座において次の行為を行わないこと。

また、故意にこれに違反する行為を行った場合に生じた損害の賠償責任を負うこと。

- 機器の損壊
- コース運営に支障をきたす行為 等

2-12. 問合せ先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局 (福岡県商工部新産業・技術振興課内)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

TEL : 092-643-3448

FAX : 092-643-3436

E-mail : info@f-suiso.jp

3. カリキュラム

福岡水素エネルギー人材育成センター

第1回 経営者(燃料電池自動車)コース カリキュラム

		講義名	講師名
12:50～13:00	10分	開講式	戦略会議
13:00～13:40	40分	校長講話	渡邊浩之 校長 (トヨタ自動車(株) 技監)
13:50～15:20	90分	燃料電池自動車の市場化に向けた取組み	トヨタ自動車(株) FC開発本部主査・担当部長 大仲 英巳 氏
15:30～16:30	60分	燃料電池自動車の普及に伴う 業界動向予測	山梨大学 客員教授 丹下 昭二 氏
16:40～17:00	20分	施設見学(選択制) ※家庭用燃料電池・水素ステーション・燃料電池自動車	
17:10～18:30	80分	交流会	戦略会議

第9回・10回の開催風景

[校長講話]



[施設見学]水素ステーション



[交流会]



各講義の内容・講師紹介

渡邊 浩之 校長 ◆トヨタ自動車(株) 技監	
13:00~13:40 校長講話：自動車の未来とモノづくり	
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水素エネルギー・燃料電池分野をどうとらえるか? ・モノづくりとはどうあるべきか
講師略歴	<p>1943年生 九州大学大学院工学研究科修士課程修了 工学博士 1967年：トヨタ自動車工業株式会社 入社 1996年：トヨタ自動車株式会社 取締役就任 1999年：同社 常務取締役就任 2001年：同社 専務取締役就任 2005年：同社 技監就任 現在に至る</p>
大仲 英巳 氏 ◆トヨタ自動車(株) FC開発部主査・担当部長	
13:50~15:20 2015年FCV市場導入に向けた業界動向	
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池とは？(燃料電池の仕組み) ・燃料電池自動車(FCV)とは？(FCVの特徴) ・FCVの技術進化(導入に向けてどこまで来ているの) ・「FCV国内市場導入と水素供給インフラ整備に関する共同声明」について ・インフラ整備への取り組み(技術開発、規制見直し)
講師略歴	<p>1969年：トヨタ自動車(株)入社エンジン分野に配属以来、東富士研究所にて排気対策システムの先行開発、新エンジン及びシステムの先行開発を長年にわたり担当。 1999年：FC技術企画部発足に伴い、FC開発分野へ異動。 主査として燃料電池システム開発を担当。 2002年：FC開発部部長。燃料電池全般の開発を担当。 世界初のFCHVの限定市場導入を陣頭指揮。 2005年：FC技術部(主査・担当部長)FC開発全般の企画・開発担当。 2007年：FCの渉外・技術広報担当。 2009年：FC開発部に異動。 業務はFCの渉外・技術広報の担当を継続。</p>
丹下 昭二 氏 ◆山梨大学 客員教授	
15:30~16:30 2015年FCV市場化後の業界動向大胆予測	
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のFCV開発動向とFCV実証試験動向 ・日米欧におけるFCV推進政策とFCV普及シナリオ ・FCVに関わる法規制をめぐる企業戦略の行方 ・FCV普及に伴う業界動向の予測
講師略歴	<p>1943年：愛媛県松山市生まれ 1966年3月：東京大学工学部航空学科卒業 1966年4月：日産自動車(株)入社 1992年1月：同社総合研究所 環境・エネルギー技術研究所長 1998年3月：財団法人日本電動車両協会常務理事、 2003年7月：財団法人日本自動車研究所FC・EVセンター技術参与 2009年3月：同研究所退職 2009年7月：山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター客員教授、現在に至る</p>
施設見学(希望者のみ)	
17:20~17:40 家庭用燃料電池・水素ステーション・燃料電池自動車	
見学内容	<p>平成21年5月から販売開始されている家庭用燃料電池エネファーム、市場化に向け実証試験が進む水素ステーション、燃料電池自動車をご覧ください。</p>